

導入事例 **株式会社キングコーポレーション 様**

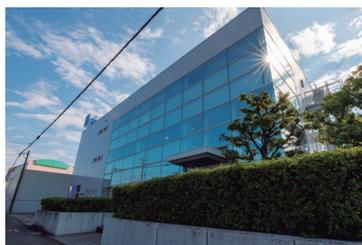
## 「封筒メーカー」として、決して譲れない品質と生産性。 imagePRESS 封筒モデル導入で新たなビジネス領域へ。



代表取締役会長 棚橋泰仁 様



### Client Profile



#### 株式会社キングコーポレーション

事務用封筒、名刺等 各種紙製品の製造・販売

従業員数：600名

所在地：愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号

創業：1932(昭和7)年

資本金：9,489万円

事業内容：事務用封筒、名刺、はがき、カレンダー等  
各種紙製品の製造・販売

### 高度な技術と高品質な製品がキングの強み。 時代と調和しながら、着実に事業を拡大。

名古屋市中区に本社を置く株式会社キングコーポレーションは、1932(昭和7)年の創業以来、企業活動に欠かせない名刺・封筒・DMなどの紙製品から、一般家庭向けの封筒、年賀状、カレンダーなども製造・販売する企業です。名古屋近郊2カ所と福岡県2カ所に工場、全国15カ所に支店・営業所を展開。封筒メーカーとしては日本屈指の存在で、特に名刺・封筒は「キング」の名称で広く親しまれています。

紙製品を軸に、名刺作成ソフトなどのソフトウェア開発、ノベルティグッズの開発も手掛けるほか、印刷会社から封筒・名刺などの製作を請け負う「印刷サプライヤー」としてのビジネスを展開。印刷会社の取引先は数千社に及び、成長を支える事業の支柱となっています。代表取締役会長の棚橋泰仁氏は、「コロナ禍で名刺など需要が減少した面もありますが、封筒など印刷サプライ用品の中には需要が伸びた分野もあります。デジタル化、ペーパーレス化の流れにあっても、相手にしっかり届ける送付物の価値が見直されているのではないのでしょうか」と語ります。

「だからこそ、我々がつくる製品に求められるのは、徹底した品質管理、印刷物としてのクオリティ、精度です。オンデマンド印刷機の積極的な導入を進めることで多品種、小ロット、短納期のご要望にも応えながら、我々の強みであるきめ細かな対応力で、お客様にご満足いただきたいと考えています」(棚橋氏)。

## 01 導入背景

### 封筒補充の手間と時間のロスが課題。

旧来、封筒印刷は軽オフセット印刷機で行っていました。ニーズの変化により封筒の用途は細分化される傾向にあり、多品種、小ロットへの対応は必須です。軽オフセット機は大量印刷に向いていますが、少量多品種では採算が合いません。また、軽オフ機の保守サービスの継続が難しいことから、近い将来、PODが主流の時代になると判断。2016年、キヤノンのオンデマンド機imagePRESS C800の導入に踏み切りました。封筒100枚セットできる給紙カセットを使っていた



企画部 課長 関英太郎 様

が、日産数千枚の規模になると、封筒補充にかかる手間と時間のロスが増大しました。この課題を解決するために、新たなオンデマンド機と封筒フィーダーの導入を検討することになりました。

## 02 選定理由

### 封筒フィーダーの接続対応で、キヤノンを選択。

各メーカーの機種を比較検討したうえで、キヤノンのimagePRESS C910封筒フィーダー付きモデルに決めた理由は、我々が望む高品質な印刷を実現できるプリンターだったからです。封筒印刷では貼り合わせ部分の品質を安定させることが難しいのですが、imagePRESS C910は封筒の貼り合わせが目立たず、仕上がりがもっともきれいなプリンターでした。また、封筒フィーダーとの接続ができることも選定の大きな理由です。キヤノンの技術者が要望に応じてくれて、稼働中



営業部 課長代理 加藤和則 様

に少なくなった封筒を追加で補充できるようになりました。印刷機としてのクオリティーと、頼りになるキヤノンの対応力が決め手でした。

## 03 導入後の成果

### 封筒フィーダーの連続給紙による作業効率化で、生産力2割増。

カセット給紙では封筒補充のため機械を止める必要がありましたが、封筒フィーダーの自動給紙で、封筒が少なくなると追加補充して連続印刷ができるようになり、作業が効率化。生産力は約2割アップしました。インクや油を使うオフセット印刷と異なり、クリーンな環境で作業が完結できるのもオンデマンド機のよさ。操作は短期間でマスターでき、若いオペレーターが即戦力として活躍しています。また、封筒に直接カラーチャートを印刷できるので、コーポレートカラーなど厳密な色の再現も容易に。半透明用紙を使ったペーパーホルダーなどへの4色カラー印刷も簡単です。データがあればすぐ出力できるので、サンプルが数部ほしいといった要望にも応えられます。見本印刷までのセッティングが大変なオフセットとの大きな違いです。おかげさまで商品提案の幅が広がりました。



## 04 今後の展開

### 高品質で多様な紙製品をコミュニケーション・ツールに。

私たちキングコーポレーションでは、高品質な紙製品は人と人とのコミュニケーション・ツールであると考えています。昨今のDX化の潮流の中で、印刷物の需要低下がいわれていますが、封筒で大切な書類を送る、届ける需要は普遍的に存在しており、まだまだ伸び代があります。環境負荷への配慮から石油由来の製品が敬遠され、紙素材への注目も高まっています。こうした分野での印刷需要にも応えていくことが今後の課題です。多様な紙製品を世に送り出すためには、技術を詰め込んだキヤノンのオンデマンド印刷機が欠かせないパートナー。今後の製品開発にも大いに期待しています。

封筒フィーダー搭載オンデマンドプリンター  
imagePRESS C910+封筒フィーダー UF-02

「安定性」 「生産性」 「対応力」

キヤノン オンデマンドプリンター  
canon.jp/pod-printer



\*封筒フィーダー UF-02/排紙トレイ S-02は株式会社光文堂の製品です。

- 名刺印刷で多用する厚紙でも毎分90枚をハイスピード出力
- 封筒、ハガキなど多様な用紙に幅広く柔軟に対応
- 長形4号～角形2号までの多様な封筒サイズに対応
- 稼働中に追加補充が可能！連続印刷により生産性が向上

封筒モデルを  
動画で紹介



Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社 プロダクションシステム企画第二課 TEL:03-6719-9504

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON S TOWER

※2022年11月現在